

もっと知ろう！社会教育委員～社会教育委員のより主体的な活躍のための提言～ (平成28年8月 岐阜県社会教育委員の会) 概要版

岐阜県各市町村社会教育委員の現状と課題

- ☑ 県内42市町村中、40市町村が社会教育委員を置いている。
- ☑ 市町村は、社会教育委員に対して、「家庭・地域の教育力向上のために家庭・地域・学校をつなぐパイプの役割」や「行政や施策の運営に対する住民の意向を伝える役割」を求めている。

「社会教育委員制度」が形骸化し、十分に活用されていない！

- ☑ 社会教育法にみる社会教育委員の職務が果たされていない市町村がある。
職務① <社会教育に関する諸計画の立案> (例) 市町村総合計画検討委員に社会教育委員を含む市町村は約30%
職務② <教育委員会の諮問に対する意見具申> (例) 社会教育委員の会が提言や意見具申を行っている市町村は約25%
職務③ <地域の課題解決等に必要調査研究> (例) 社会教育委員の会に小委員会を設置している市町村は1市
- ☑ 社会教育委員の多くは充て職で、名前だけの委員になっている市町村がある。
- ☑ 会議が形骸化しており、社会教育委員の意見を施策に反映させる仕組みがない市町村がある。
- ☑ やりがいや満足感を感じていない社会教育委員が約40%いる。

今後期待される社会教育委員の役割

- ☑ 少子高齢化、グローバル化、地域社会の教育力低下、学校が抱える課題の複雑化・困難化等、社会状況が急速に変化している。
→ 地域の未来の担い手である子どもの教育を地域と学校が力を合わせて充実させることは、地域の振興・創生につながる。学校と様々な機関・団体や、地域住民同士をつなぐコーディネーターとしての役割をもつ人材が求められており、社会教育委員にその役割を託すことができるのではない。

社会教育委員が「学校を核とした地域づくり」のキーパーソンとして活躍することで、子どもたちの豊かな成長と住民一人一人の活躍の場の創出、地域の活性化が期待できる。

社会教育委員のより主体的な活躍に向けて（提言）

<社会教育委員及び市町村事務局が取り組むべきこと>

- ①社会教育委員に求める資質を明確にすること
- ②地域の具体的な未来像を話し合い、共有すること
- ③社会教育委員が地域の組織や人々をつなぐ立場として活躍し、コーディネーターとしての役割を果たすこと
- ④社会教育委員の見識を深める研修と、社会教育委員同士の交流を工夫すること
- ⑤事業目標と評価指標の設定を工夫し、事業内容を改善すること

<県教育委員会が取り組むべきこと>

- ①市町村事務局の意識改善を図ること
- ②専門性を身に付けた社会教育委員を育成すること（人材育成のための補助金等）
- ③各種団体と連携して、社会教育委員の研修を体系化すること
- ④社会教育委員の活躍を認め広める機会をもつこと（県教育長感謝状授与等）
- ⑤社会教育委員の活動事例を積極的に紹介すること（交流サイト開設等）

期待できる効果

- ☑ 社会教育委員が「学校を核とした地域づくり」のキーパーソンとしてコーディネーターや支援員の役割を果たすことで、学校や地域が活性化する。
- ☑ 社会教育委員の資質が向上するとともに、社会教育委員がやりがいや満足感をもって役割を果たすことで、行政や施策の運営に対する意見交換が活発に行われ、より効果的な事業改善が図られる。